

# 東大野球部メールマガジン Vol.162

## ごあいさつ

春一番が吹き抜けて、少し暖かくなってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年で3回目となります沖縄合宿が本日から始まりました。バッテリー陣の更なる技術向上が期待できる絶好の機会となっております。また、27日からは福岡合宿もスタートいたします。まだまだ厳しい寒さが続く東京を離れ暖かな気候のもと、より一層集中して練習に取り組んでまいります。

今後とも東大野球部をどうぞよろしくお願い致します。

## 今後の日程

〈沖縄バッテリー合宿〉

2月22日～3月7日 @首里高校石嶺球場ほか

〈福岡合宿〉

2月27日～3月13日 @リョーユパン野球場

## 今回の特集 「野球と勉強の両立」

今回の特集では、高校時代、大学生活の中での野球と勉強の両立について以下の5人のメンバーに聞きました。

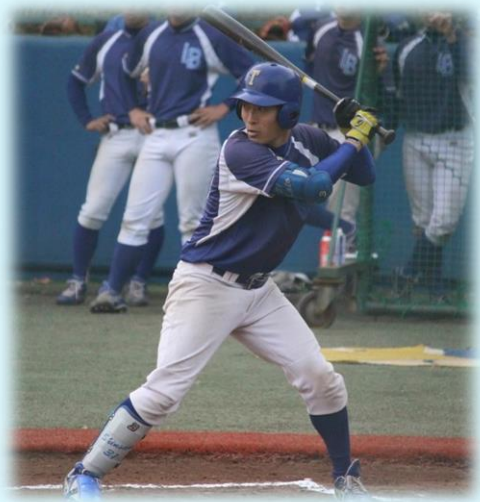
古田 将基 (新4年・外野手・岐阜)

「勉強の成果=量(時間)×質(効率)」

野球部に所属すると、他の学生より量的な要素である時間は短くなるため、質的な要素の効率を高める工夫をしています。

「勉強の成果=テストで良い点をとる」とすると、具体的には、まず準備として、野球部や学科の友達や先輩からテストの情報をできる限り集めます。そ

して、いざ実際に勉強するときにはONとOFFの切り替えをはっきりさせます。やる時は最大限の集中力で勉強し、疲れたときはだらだら続けず短い休憩を入れるようにしています。



中川 駿 (新3年・マネージャー・学芸大附)

僕は野球と勉強を両立させたことがありません。中学までは野球も勉強もそれなりにやれば集団の中では結果が出ていました。高校で森田穰(新4年/学芸大附)に出会い、「外の世界」を知らされてからは、何とか追いつこうと必死に野球に取り組む一方で、勉強は結果が出ず不貞腐れ、逃げてしまいました。高校野球が終わり東大で野球がしなくなってからは、エンジンのかかりこそ遅かったですが、よく勉強した自負があります。僕は二兎を追わなかったからこそ、日本一の文武両道、東大野球部にたどり着いたと思います。



## 阿部 篤生（新2年・投手・灘）

はじめまして、新2年の阿部です。以後よろしくお願い致します。

僕は長期間コツコツと勉強するよりも短期間でまとめて勉強する方が自分に合っていたので、高校の頃も大学に入った今もテスト前1週間くらいで集中的に勉強し、それ以前は勉強をあまり気にせず野球に集中するという生活を送っています。野球と勉強を両立しようと努力する中で自分に合った時間の使い方が見えてくると思います。



## 坂口 友洋（新2年・投手・日比谷）

私は高校時代、勉強と野球の両立は特に考えていませんでした。意識しなくても勉強が出来てしまったので、部活を中心にしていました。大学入学後は講義が非常に面白く、勉強量が自然と増えました。しかし、競技野球においては野球優先にする必要があり、野球と勉強の両立で睡眠時間が少なくなっています。文武両道には犠牲が必要です。しかし、その逆境に立ち向かう負けず嫌いさが大事だと思っています。



## 大鳥 航（新2年・外野手・早稲田実業）

どうも。新2年の大鳥と申します。今回の記事は高校生向けに書いてみようと思います。野球と勉強の両立、本来なら計画を立てて地道にやるべきなのだと思いますが、家に帰っても疲れて勉強なんかしたくありませんよね…。そこで私は、極力学校で勉強を済ませるようにしていました。休み時間や授業中の空いた時間に宿題など進めておくことで、家での負担を減らしていました。



## 編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

次回は「春季合宿特集」というテーマで沖縄合宿および福岡合宿の参加選手に合宿の様子や厳しい練習を通しての成長について報告してもらいます。どうぞ楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしくお願い致します。

## お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等  
ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。